

江田島市地域経済動向調査（令和2年8月）

■全国の景況

◇月例経済報告（令和2年7月号より）

『景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、このところ持ち直しの動きがみられる。』

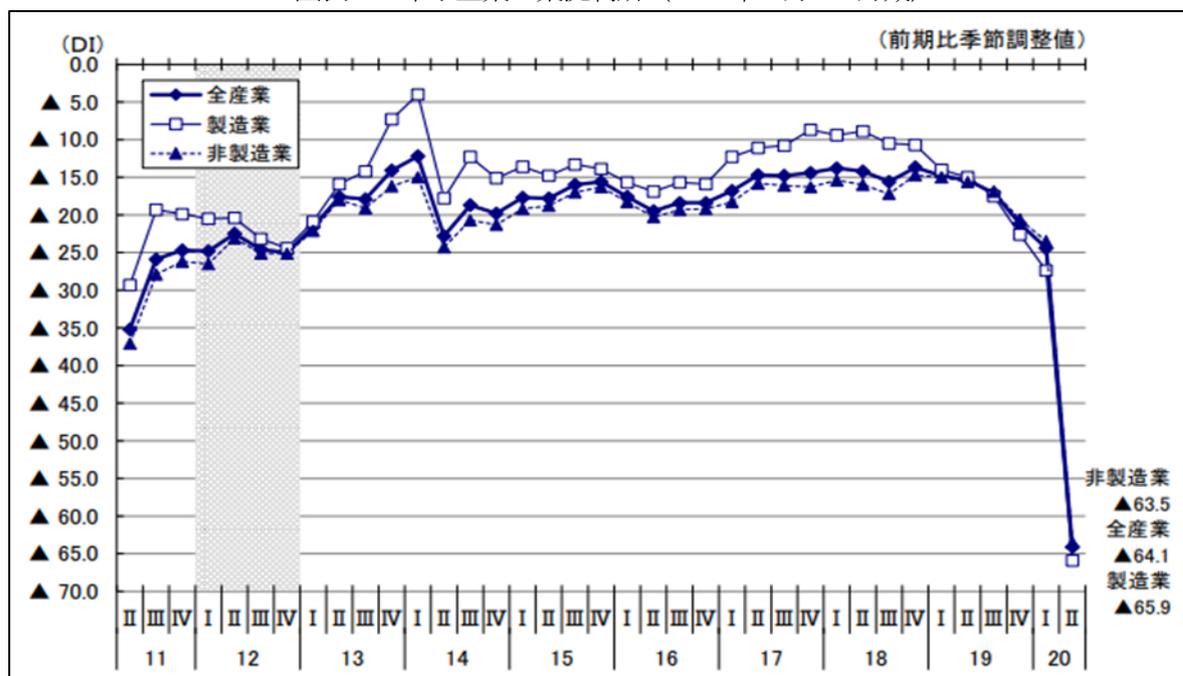
- ・個人消費は、このところ持ち直している。
- ・設備投資は、このところ弱含んでいる。
- ・輸出は、感染症の影響は残るものの、下げ止まりつつある。
- ・生産は、総じてみれば、減少しているものの、このところ一部に持ち直しの兆しもみられる。
- ・企業収益は、感染症の影響により、急速に減少している。企業の業況判断は、厳しさは残るものの、改善の動きがみられる。
- ・雇用情勢は、感染症の影響により、弱い動きとなっている。
- ・消費者物価は、横ばいとなっている。
- ・先行きについては、感染拡大の防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを段階的に引き上げていくなかで、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されるが、感染症が内外経済に与える影響に十分注意する必要がある。また、令和2年7月豪雨等の経済に与える影響や金融資本市場の変動に十分留意する必要がある。

◇中小企業景況調査（2020年4～6月より）

『中小企業の業況判断DIは、急激に悪化し、6期連続の低下となった。』

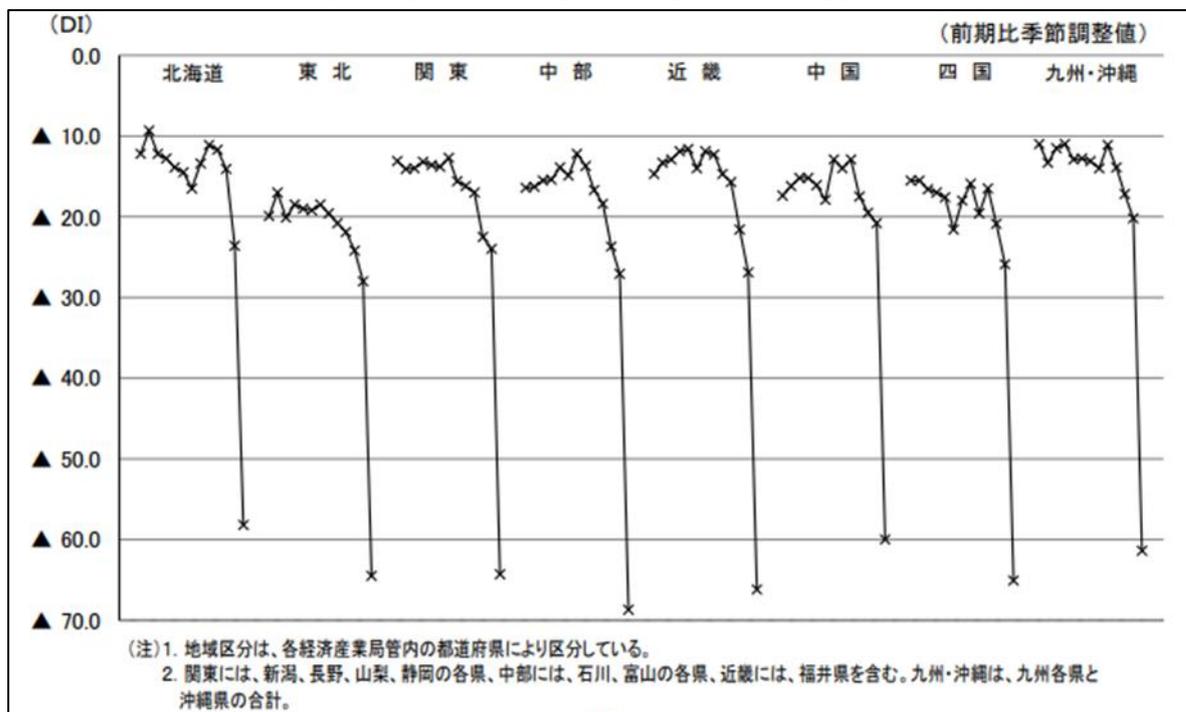
- ・2020年4～6月期の全産業の業況判断DIは、(前期▲24.4→) ▲64.1（前期差39.7ポイント減）となり、6期連続してマイナス幅が拡大した。
- ・製造業の業況判断DIは、▲65.9（前期差38.5ポイント減）となり、8期連続してマイナス幅が拡大した。
- ・非製造業の業況判断DIは、▲63.5（前期差40.0ポイント減）と8期連続してマイナス幅が拡大した。

図表1 中小企業の業況判断（2020年4月～6月期）



- ・地域別の業況判断D I（全産業）は、中部、九州・沖縄、関東、近畿、中国、四国、東北、北海道のすべての地域でマイナス幅が拡大した。

図表2 中小企業の地域別業況判断D Iの推移（全産業）
（2017年4月－6月期～2020年4月－6月期）



■広島県の景況

◇広島県内経済情勢報告（令和2年8月）

『県内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるものの、足下では下げ止まりの動きがみられる』

- ・個人消費：「新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、足下では持ち直しの動きがみられる」
ドラッグストア販売は食料品などが、ホームセンター販売はDIY用具・素材などが好調であり、前年を上回っている。百貨店販売は衣料品などが、コンビニエンスストア販売は食料品などが低調であり、前年を下回っているものの、足下では来店客数が戻ってきており持ち直しつつある。乗用車販売（新車登録・届出台数）は、普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車いずれも低調であり、前年を下回っている。これらのことなどから、個人消費は、全体では、新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、足下では持ち直しの動きがみられる。
- ・生産活動：「新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では一部に下げ止まりの動きがみられる」
輸送機械、一般機械、プラスチック製品は、海外需要を中心に弱い動きがみられることから減少しているほか、鉄鋼は、自動車向けなどの需要に弱い動きがみられることから減少しているなど、多くの業種で新型コロナウイルス感染症の影響がみられる。こうしたなか、足下では、輸送機械が一部の需要に伴い増加しているなど、下げ止まりの動きがみられる。このように、生産活動は、全体では、新型コロナウイルス感染症の影響がみられるものの、足下では一部に下げ止まりの動きがみられる。
- ・雇用情勢：「新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる」
有効求人倍率はこのところ低下しているほか、新規求人数も減少するなど、雇用情勢は、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱含んでいる。
- ・設備投資：「令和2年度は前年度を上回る見込み」
○製造業では、「自動車」、「鉄鋼」などで減少するものの、「その他製造」、「生産用機械」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
○非製造業では、「小売」、「電気・ガス・水道」などで減少するものの、「金融・保険」、「宿泊・飲食サービス」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
- ・企業収益：「令和2年度は減益見込み」
○製造業では、「その他製造」、「化学」などで増益となるものの、「生産用機械」、「非鉄金属」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
○非製造業（除く「電気・ガス・水道業」、「金融業、保険業」）では、「小売」、「建設」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
- ・企業の景況感：「『下降』超幅は拡大」
企業の景況判断BSIは、「下降」超幅が拡大している。なお、先行きは「下降」超幅が縮小する見通しとなっている。
- ・住宅建設：「前年を下回る」
新設住宅着工戸数でみると、貸家、分譲住宅などが減少していることから、前年を下回っている。
- ・輸出：「前年を下回る」
県内通関実績（円ベース）でみると、輸出は、自動車、船舶などが減少していることから、前年を下回っている。地域別では、北米、アジアなどで減少している。
なお、輸入は、石炭、電気機器などが減少していることから、前年を下回っている。地域別では、アジア、大洋州などで減少している。

図表3 広島県の主要経済指標

	鉱工業生産指数 (季節調整済) (2015年=100)		電力需要 実績 伸び率 前年比	百貨店・ スーパー 販売額 伸び率 前年比	乗用車 新車登録・ 届出台数 前年比	新設住宅着工戸数 伸び率、前年比			公共工事 費金額 伸び率 前年比	所定外 労働時間 伸び率 前年比
	指数	前月(年、期)比				戸数合計	持家	貸家		
2016年	101.2	1.2	—	△ 0.5	△ 2.5	12.6	5.1	17.4	※△ 2.8	1.9
17	103.3	2.1	—	△ 1.5	6.5	14.2	△ 1.8	14.5	※ 3.3	0.6
18	100.3	△ 2.9	—	△ 1.2	2.2	△ 12.0	△ 2.2	△ 14.2	※ 16.6	△ 2.3
19	100.7	0.4	—	△ 0.6	△ 3.6	2.2	2.6	△ 12.0	※ 27.9	△ 1.3
19年4～6月	105.7	2.0	0.3	1.3	0.5	17.7	15.7	△ 5.1	68.2	0.0
7～9	98.2	△ 7.1	△ 0.9	1.4	4.2	△ 8.5	3.4	△ 27.1	32.1	0.3
10～12	96.1	△ 2.1	4.7	△ 4.4	△ 16.6	1.1	△ 9.0	△ 3.5	16.3	△ 2.9
20年1～3	99.9	4.0	0.7	△ 2.1	△ 5.5	△ 10.9	1.7	△ 5.2	△ 5.0	△ 7.2
4～6				△ 14.0	△ 32.0	△ 33.1	△ 18.1	△ 36.9	9.8	
19年 5	104.4	0.8	1.3	1.3	5.5	△ 15.8	5.4	△ 28.0	118.3	△ 0.8
6	109.2	4.6	2.1	2.0	△ 4.5	64.1	28.6	26.6	75.3	0.0
7	104.3	△ 4.5	△ 0.2	△ 3.8	1.5	△ 3.5	△ 2.0	△ 29.5	63.9	2.6
8	93.5	△ 10.4	△ 3.6	0.7	△ 3.8	△ 14.0	9.2	△ 33.1	15.4	△ 5.2
9	96.8	3.5	1.2	8.1	13.2	△ 7.7	3.6	△ 17.1	16.5	3.5
10	95.5	△ 1.3	4.2	△ 9.7	△ 26.3	34.7	1.1	63.8	44.0	△ 0.8
11	94.1	△ 1.5	5.5	△ 1.7	△ 11.1	△ 22.1	△ 24.0	△ 19.0	△ 8.0	△ 3.2
12	98.7	4.9	4.3	△ 2.5	△ 12.0	△ 5.7	△ 2.2	△ 34.4	7.3	△ 4.7
20年 1	102.7	4.1	1.2	1.1	△ 12.2	△ 14.5	△ 9.0	△ 2.3	△ 23.2	△ 3.5
2	101.9	△ 0.8	0.7	2.8	△ 5.1	△ 27.1	△ 4.2	△ 17.5	12.0	△ 5.8
3	95.0	△ 6.8	0.3	△ 9.4	△ 1.3	12.7	18.5	5.9	△ 2.7	△ 10.3
4	74.5	△ 21.6	△ 3.5	△ 23.2	△ 29.1	△ 44.2	△ 17.6	△ 66.6	56.5	△ 21.6
5	P 73.9	△ 0.8		△ 17.3	△ 44.2	5.0	△ 24.1	37.1	△ 17.7	△ 33.7
6				△ 2.1	△ 23.4	△ 45.6	△ 13.7	△ 50.6	△ 20.5	
調査機関	広島県統計課		資源エネルギー庁	中国经济産業局	中国連盟	国土交通省		西日本建設業協会	県統計課	

(注) Pは速報値、鉱工業指数の算年値は原指数、電力需要実績は特別高圧(大規模工場やデパート、オフィスビル)と高圧(中小ビルや中小規模工場)の合計値で、2016年3月までは中国電力公表の大口電力需要を掲載している。百貨店・スーパー販売額の伸び率は店舗調整値、公共工事費金額と有効求人倍率の※は年度、所定外労働時間は事業所規模5人以上。

	有効求人 倍率 (倍)	消費者 物価指数 伸び率 前年比 (広島市)	銀行		手形交換		不渡手形 (内取引停止処分)		企業倒産 (負債1千万円以上)	
			総預金 (億円)	貸出金 (億円)	枚数 (千枚)	金額 (億円)	枚数 (枚)	金額 (万円)	件数 (件)	負債総額 (百万円)
2016年	※1.88	0.0	122,718	86,678	1,141	33,994	28	4,042	127	60,005
17	※1.88	0.3	126,134	90,150	1,055	30,304	81	5,959	155	27,960
18	※2.08	0.8	129,242	94,233	970	27,930	94	8,506	184	31,553
19	※1.96	0.1	131,899	96,109	912	27,870	89	10,045	190	24,866
19年4～6月	2.08	0.2	131,433	99,050	231	7,705	12	1,575	43	2,852
7～9	2.02	△ 0.1	131,112	99,358	246	7,236	1	52	41	3,573
10～12	1.98	0.4	133,031	101,114	203	5,837	64	7,942	58	8,629
20年1～3	1.78	0.8	134,518	101,615	226	6,556	17	610	41	9,118
4～6	1.53	0.4	140,135	104,189	199	5,600	5	246	47	9,202
19年 5	2.09	0.2	130,196	98,571	98	2,772	4	1,191	10	796
6	2.06	0.0	131,433	99,050	57	1,962	4	80	18	1,441
7	2.04	0.1	130,004	99,194	96	2,701	—	—	18	1,096
8	2.02	△ 0.2	131,352	99,437	57	2,033	1	52	11	373
9	2.00	△ 0.3	131,112	99,358	91	2,502	—	—	12	2,104
10	2.00	0.1	131,178	99,568	74	1,876	23	3,286	34	5,601
11	1.97	0.5	131,542	100,051	54	1,728	16	1,950	14	830
12	1.96	0.8	133,031	101,114	75	2,233	25	2,706	10	2,198
20年 1	1.81	0.7	131,712	101,336	85	2,241	7	180	7	306
2	1.78	0.9	132,943	101,380	53	1,769	3	179	19	2,789
3	1.76	0.8	134,518	101,615	88	2,546	7	251	15	6,043
4	1.64	0.2	138,083	102,274	68	1,980	1	124	21	5,292
5	1.52	0.4	138,685	104,344	47	1,794	3	75	7	2,991
6	1.43	0.6	140,135	104,189	84	1,826	1	47	19	919
調査機関	広島労働局	総務省	日本銀行広島支店		広島県銀行協会			帝国データバンク広島支店		

(注) 有効求人倍率の※は年度で原数値、年度及び四半期の数値は月平均。総預金、貸出金は月末残高、四半期は期末残高、年次値は3月末残高。銀行には第二地方銀行協会加盟行を含む。

■江田島の景況

◇中小企業景況調査（令和2年7月）

『江田島の景況は、全国の情勢を上回ってはいるが、広島県の情勢を下回っていると思われる。』

中小企業景況調査より、2020年4月～6月の景況判断状況は次のとおりである。

- ・2020年4月～6月期の広島県の全産業の業況判断D Iは▲57.2であり、全国と比較して、6.9ポイント高くなっている。
- ・江田島の数値は15社分の集計結果であり、参考値としてみていただきたいが、D Iは▲60.0であり、全国値よりも高いが、広島県値より低い値となっている。

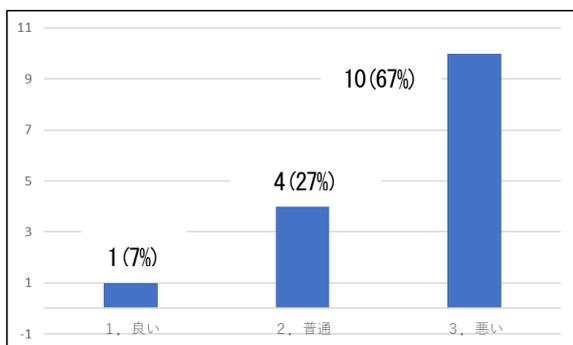
図表4 景況判断状況

(前期比)

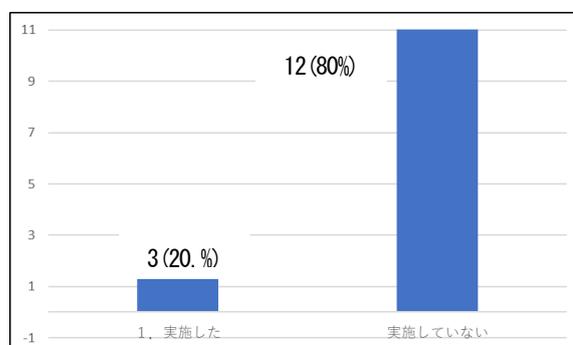
	2019年				2020年	
	1 - 3月	4 - 6月	7 - 9月	10 - 12月	1 - 3月	4 - 6月
全国	▲14.8	▲15.4	▲17.1	▲21.2	▲24.4	▲64.1
広島県	▲10.3	▲11.1	▲13.6	▲16.7	▲20.2	▲57.2
江田島市	▲40.0	▲33.3	▲46.7	▲46.7	▲66.7	▲60.0

- ・江田島市15社分の現在の景況感、設備投資状況は次のとおりである。

図表5 現在の景況感



図表6 2020年4月～6月の設備投資



- ・中小企業景況調査では、全国で約19,000企業、江田島市商工会では15社が対象となっている。
- ・江田島市商工会においては、製造業では「需要の停滞」、建設業では「大企業の進出による競争の悪化」及び「官公需要の停滞」、小売業では「需要の停滞」、サービス業では「店舗施設の狭隘・老朽化」が経営上の問題点の1位となっている。

図表6 経営上の問題点

		経営上の問題点		
		1位	2位	3位
製造業	全 国	需要の停滞	生産設備の不足・老朽化	製品ニーズの変化への対応
	江田島市商工会	需要の停滞	熟練技術者の確保難	製品（加工）単価の低下・上昇難
建設業	全 国	官公需要の停滞	従業員の確保難	官公需要の停滞
	江田島市商工会	大企業の進出による競争の悪化 官公需要の停滞	材料価格の上昇 民間需要の停滞	その他
小売業	全 国	需要の停滞	消費者ニーズの変化への対応	大・中型店の進出による競争の激化
	江田島市商工会	需要の停滞	購買力の他地域への流出	人件費の増加
サービス業	全 国	店舗施設の狭隘・老朽化	利用者ニーズの変化への対応	店舗施設の狭隘・老朽化
	江田島市商工会	店舗施設の狭隘・老朽化	需要の停滞	材料等仕入単価の上昇

◇保証月報（広島県信用保証協会月報）

江田島市内事業所の金融保証承諾及び保証債務残高の状況は次のとおりである。

- ・令和2年6月末時点の江田島市内中小企業の保証承諾件数は65件、金額は1,184百万円であり、前年同月比では増加している。
- ・令和2年6月末時点の江田島市内中小企業の保証債務残高件数は466件、金額は4,080百万円であり、前年同月比では増加している。

図表7 保証状況（江田島市・広島県）

（単位：百万円）

	2019年6月					2020年6月			
	保証承諾		保証債務残高			保証承諾		保証債務残高	
	件数	金額	件数	金額		件数	金額	件数	金額
江田島市	23	341	463	3,864	江田島市	65	1,184	466	4,080
広島県	3,895	43,277	58,256	416,654	広島県	14,403	234,541	63,661	561,675

以 上